

三春の教育情報ステーション

● 各学校などの行事は時期を変えて工夫して行います

東日本大震災と原子力発電所の事故により、学校や幼稚園、保育所は当初予定していた行事の変更を余儀なくされています。このため、学校などでは、教育活動を実施するにあたって、子どもたちの育ちのために予定していた教育活動に工夫を加えた変更を行っています。

●●● 変更や工夫して行っている主な事項 ●●●

- 中学校では、4月に予定していた修学旅行を6月から7月にかけて実施予定です。
- 小学校では、5月に予定していた運動会を9月から10月にかけて実施予定です。
※ 中郷小学校では、5月14日に体育館で実施しました。
- 幼稚園や保育所も、行事や栽培活動の見直しを行っています。

子どもたちの育ちへの影響がなるべく少なくなるよう、各学校で知恵を出し合って教育活動を進めています。なお、放射能による学校行事の変更や教育環境の整備について、多くの方々から電話やメールをいただいておりますが、三春町教育委員会では、子どもの安全を第一に考え、教育・保育の環境整備に今後とも努力してまいります。



中郷小学校で行われた運動会のようす

● 今年もキャリア教育を実施します

毎年、中学生がキャリア教育の一環として行ってきた「職場体験」は、町商工会、異業種交流会、JAたむら、労働福祉協議会などの関係機関などのご協力を得て、今年も6月から7月にかけて実施します。

子どもたちが社会人となる基礎（社会の役に立つ喜び）と将来の夢（職業）へ向けて、今できることをがんばろうとする意欲を高めることが目的です。町内事業所のご協力をよろしくお願ひします。

『キャリア教育』って何？

「キャリア教育」とは、児童生徒一人ひとりの勤労観、職業観を育てる教育です。

働くことへの関心・意欲を高めたり、学習意欲の向上、社会人・将来の職業人としての資質や能力の向上を図ることをねらいとしています。



読書で心を豊かに。読書活動の充実



マスターテストに真剣に取り組むようす

■学力の向上と心を培うために

平成23年度の沢石小学校は、新入生13名、富岡町、浪江町、葛尾村から避難してきた9名の新しい仲間を迎えてスタートしました。この震災では、校舎などに被害を受けましたが、避難してきた仲間との出会いを大切にしながら、ともに未来に向かって、力強く、たくましく生きる児童を育てていきたいと考えています。

学校では、学力の向上を図るために、年に3回、マスターテスト（学習着度テスト）を実施しています。テストの前に、学年を越えた縦割り班で勉強会を行い、互いに教え合いながら学習した内容をしっかり身につけ、その成果をマスターテストで確かめます。

また、心を培うために、昨年度の全校道徳に続いて、参観日に全学級で、保護者のみなさんとともに道徳の授業を行います。さらに、おすめの本を「ならなしライブラリー」として選定し、「読んでみっかーど」という読書カードに記録して、読書活動を充実させ、知識を豊富にし、心を豊かにしたいとも考えています。保護者のみなさんや老人クラブをはじめとした地域の方々の協力を得ながら、充実した教育活動を推進しています。

教育トピックス

我が校の特色ある教育 沢石小学校編